

やまびこ

登場人物

タム（やまびこ）

カプカ（雲の精霊）

ピーノ（人間の子供）

ピーノのお母さん

ニコラ（ピーノの友達）

山男ズ（アンソニー・カール・マルソー）

劇団演陣

プロローグ

カプカ、悠々と登場。

カプカ

皆さん、こんにちは。お久しぶりです。え？ 僕のことを知らない？ 知らないはずがありませんよ。毎日、皆さんのうどんに・・そばにいるんですから。ああ、そういえば皆さんの前に姿をあらわしたのは初めてかもしれませんがね。

じゃあ、初めまして。僕の名前はカプカといいます。僕はガタラ山の上のそのまた上のそのまた上の雲の上に住んでいます。

僕が何者かって？ 何者に見えます？ スマップ（自由にアレンジして）？ ありがとう。僕は雲の精霊です。

お母さんの機嫌と、山の天気は変わりやすいって言うでしょ？ それが僕です。天気を操るのが僕の仕事です。

雨（雨の音）、雪（吹雪の音）、晴れ（鳥の鳴き声）ねっ。

僕には友達がたくさんいます。川や海を操る水の精霊は僕のいとこのポニヨンで、土を操る精霊は僕のはとこのトトロんです。山の動物達とも仲がいいんですよ。

（サル、登場。モンキーマジック&モンキーバナナなど仲良さをアピールして、はける。）

カプカ

ねっ。でも、僕ら精霊は人間には見えないんです。あつ、でも時々、見える人もいます。たとえば、山男のアンソニーは・・・おっとうわさをすれば彼が・・・。

山男

カールー！

タム（声）

カールー！

山男

マルソー！

タム（声）

カールー！

山男

カールー！

タム（声）

カールー！

山男

マルソー！

タム（声）

マルソー！

山男

やあ。

こんにちは。彼の名前はアンソニー。彼はこの山で生まれ、

山男

おんぎやあ。

カプカ

この山で育った

山男

すくすく。

劇団演陣

ピーノ
母
ピーノ
母
ピーノ
母
ピーノ
母
ニコラ
ピーノ
母
ピーノ
母
ピーノ
母
ピーノ
母
ニコラ
ピーノ

ニコラは村で一番歌が上手だと思うよ。
あら、お母さんよりも？

うーん。お母さんの次に一番かな。

ふふ。ありがとう。

それじゃあ、お母さん、いつてきまーす。

待って。ピーノ。

えっ、なあに？（振り向く）

（上着を取りに行き）上着、忘れてるわよ。

ありやいや、わすれてた。ありがとう。（着せてもらう。）

他に忘れ物はない？

うん。ない。じゃあ、行ってきます！

ニコラの言うことをちゃんと聞くのよ。

わかってるよ。（行くこうとする。）

あと、暗くなるまでにちゃんと帰ってきてね。

うん。（行くこうとする。）

あら？ あれ、ニコラじゃない？

ピーノ！！

ニコラ！！

ニコラもピーノと遊びたかったのね。

えへへ。

ニコラー ピーノをよろしくね。ピーノ、ニコラとはぐれちゃだめよ。

わかってるよ。それじゃあ、いつてきます。

気をつけてねえ。

いこう！

うん！

ピーノ、ニコラ、下手へはける。

母、上手へはける。

緞帳が開く

第二場
山

下手からピーノ、ニコラ、登場。

ピーノ やまやまやまやまあ。

ニコラ ピーノ、一人で先に行かないでえ。

ピーノ いいお天気になってよかったね。ニコラ。

ニコラ そうだね。

ピーノ あのね、あのね。

ニコラ ん、何だい？

ピーノ 今日ね、お母さんのお誕生日なんだ。

ニコラ そうなんだ、おめでと。

ピーノ だから僕ね、お母さんにお花をプレゼントしようと思うんだ。

ニコラ いいね、きつと喜ぶよ。

ピーノ うん！ あのね、お母さんね、ひばり草っていう花が一番好きなんだって。

ニコラ ひばり草？

ピーノ 赤くてかわいくて、こーんなに小さな花なんだって。

ニコラ えっ！？ そんなに大きいの？

ピーノ あ、間違えた。これくらいかな？

ニコラ 知ってる。

ピーノ え？

ニコラ 僕知ってるよ。赤くてかわいくて、これくらいの小さな花。

ピーノ ほんと！？

ニコラ うん。このあたりにも、よく咲いているし、あっちの方へ行けばもっとたくさん咲いてるよ。

ピーノ じゃあ、あっちで探してみようっ！（駆け出す）

ニコラ ピーノ、待って！

ピーノ （振り向く）早く行こうよ。

劇団演陣

ニコラ そうかな？
 タム そうかな？
 ピーノ もう一回やつて。
 タム もう一回やつて。
 ニコラ じゃあ、リクエストにお答えしまして。

(歌の最中、ピーノは最初は踊っているが、ウサギを追いかけて行く。)

ニコラ・タム ♪この山は 僕らの遊び場さ

山にあるりんごは 食べ放題

かくれんぼしたら 見つからないよ

ここにある全部は僕のもの

僕ニコラとピーノは 仲良しで

遊ぶときは いつも一緒なのさ

今もピーノは 横にいる

ここにある全部は僕のもの (ジャン♪)

♪ここにある全部は僕のもの

タム

僕の歌は、どうだった？ あれ？ ピーノ、ピーノ？ まったく、しょうがないなあ。(探しつつ、はける。)

まったくしょうがないなあ。

(木から登場)へったくそな歌！

へったくそな歌！(声に気づく)

僕だったら、もっと上手に歌えるね。

僕だったら、もっと上手に歌えるね。

じゃあ、歌ってみるよ。

じゃあ、歌ってみるよ。

ニコラ

タム

カプカ

カプカ

タム

カプカ

タム

劇団演陣

カプカ
タム
カプカ
タム
カプカ
タム
ピーノ
タム
カプカ

気持ちいいんだ、雲の上は。いつか、タムも連れて行ってあげたいなあ。
 (にっこにこ)
 タムは晴れてる方が好き？
 (うなづく)
 じゃあ、明日もいいお天気にしようかな。
 (やったー！)
 (声だけ) ニコラー！
 ニコラー(ニコーっとして、カプカを見る)
 よかったね。

風の音

タム
カプカ
タム
カプカ
タム
カプカ
タム
カプカ
タム
カプカ
タム
カプカ
タム
カプカ
タム
カプカ
タム
カプカ
タム
カプカ

(嬉しすぎて、どうにかなっているタム)
 どうしたんだ！？タム。
 (満面の笑み)
 ちゃんと口で言わなきゃわからないよ。
 ちゃんと口で言わなきゃわからないよ。
 あー、わかった。じゃあ、動きで説明してくれ。
 (遠くを指さす)
 さっきの子か。あの子がどうした。
 (遠くを指さす)
 あの子と
 (カプカと腕を組んでくるくる回る)
 一緒に
 (めちやくちやに踊る)
 遊びたい
 (その通りという感じで、カプカを指さす)
 僕もタムも人間には見えないの？
 (がーん！)

劇団演陣

カプカ

あのね。タムは人間の子供と同じように遊ぶことはできないけど、人間の子供にはできないことが、タムにはできるじゃないか。

タム

?

カプカ

やまびこだよ。声を遠くまでとばすことができるなんて、すごいことじゃないか。

ふもとの村の人間たちが、どうやって朝が来たことを知ることなのか、タムは知っているか。

タムが朝一番の山鳥の鳴き声をふもとの村まで届けているからだよ。

あの村の子供たちが、この山へ来て一番楽しみにしていることはなんだ？

やまびこだよ。声が返ってくるのが、楽しくてしょうがないんだよ。

遠くにいる友達とやまびこで話ができるのがおもしろいからなんだよ。

タム

(わからないという表情)

カプカ

いつかわかるよ。タムはタムでいいんだ。

山男(声)

カール!

タム

カール!

山男(声)

マルソー!

タム

マルソー!

山男(アンソニー) 上手より、登場。

山男

カール!

タム

カール!

山男

おや、よく会うね。

カプカ

こんにちは。

タム

(びっくりして、カプカの後ろに隠れる)

山男

おや、君は?(タムに驚くような速さで近づく)

タム

(カプカと背中合わせで逃げる。)

山男

やっほー!

タム

やっほー! (出てくる)

劇団演陣

タム、山男と目が合う。カプカと背中合わせになり、隠れる。

やっぱり、やまびこくんか。

はい、タムといます。ほら、恥ずかしがってないで、こんにちは。

こんにちは。

こんにちは。

(カプカの後ろに隠れる)

アンソニーさん、カールさんとマルソーさんをお探しじゃなかったんですか？

ああ！そうだったそうだった。あの2人、全くだこへ行ったんだ。困ったもんだよ。

それじゃあ、失礼するよ。もし、君たち見かけたら、ぎやふんと言わせておいてくれ。

ぎやふん。

はっはっはっはっは。それじゃ。

また。

カール！

カール！

マルソー！ (はける)

マルソー！

恥ずかしがってちやダメじゃないか。

恥ずかしがってちやダメじゃないか。

全く、僕のまねばかりして。ちゃんと聞いているのか。

全く、僕のまねばかりして。ちゃんと聞いているのか。

わかった。いいか、これから僕が友達をつくりかたを教えてあげる。僕と同じようにやるんだ。

やるんだ。

うん。

(うなづく)

こんにちは。

こんにちは。

僕はやまびこのタムです。

僕はやまびこのタムです。

第三場

ピーノをさがせ！

ニコラが駆けこんでくる。手にはピーノの上着を持っている

ニコラ

おばさん！

母

どうしたのニコラ。そんなに慌てて。

ニコラ

山でピーノとはぐれちゃったんだ。それで、山の中でピーノを探したらこれを見つけたんだ。

母

ピーノに着せた上着だわ。

ニコラ

ピーノ、食べられちゃったかもしれない。

母

ニコラ、落ち着いて。人を食べるような悪い怪物は、ガタラ山にはいないのよ。

ニコラ

でも、ピーノどこにもいないんだ。

母

わかったわ。探しにいきましょう。ニコラは、村の人たちにピーノを探すのを手伝ってくれるように言ってきて。

ニコラ

うん、わかった。

ニコラ、上手へ退場

母

ピーノ、無事でいて。

お母さん、下手へ退場。

山男(アンソニー)、中幕の間から泣きながら登場。

山男

うう〜カ〜ル〜、マルソ〜、(カラスの音) ひい！・・・どこ行っちゃったんだよ〜。

俺を一人にするな〜。あ〜俺は一人が嫌いだあ〜。寂しいんだあ〜。

隠れてないで、出てきてくれよ〜。俺が悪かったよ〜。

二人のドーナツ。もう勝手に食べたりしないよ〜。だから出てきてくれよ〜。

うううわああん。うう、うわあああん。

中幕が開きはじめる。

劇団演陣

山男

うう？(上手奥を見て)カール！マルソー！(涙を拭って)
 おい、二人とも勝手にいなくなるとはどういうことだ。お前たちは、リーダーの俺についてくればいいんだ。
 おい！こら待て。待てー。

中幕 開。

下手からお母さん登場。

母

ニコラ

本当にピーノったら、どこへ行ったのかしら。

母

ニコラ

おばさん！ピーノはいた？
 いいえ。

陽が傾きかけてきたわ。早くピーノを見つけないと。

(声だけ)お困りのようですね。

なに？

誰？

母

ニコラ

山男ズ(アンソニー・カール・マルソー)

上手より、登場。

(アルプス一万尺のリズム)

山男ズ

♪やーまのことなら 俺たちにー 聞いたらいいんじゃないのかな へい！

母

山男ズ

きーのこは無闇に 食ーべてはいけない！ おー困りでしたら俺たちに へい！
 あなたたちは？

山男ズ

いろいろありましたが、やっと三人揃いました！

母

山男ズ

山・男・です！おっ困りのようですね。何が・あったか・聞いても・♪よろしいですか？

ピーノを私の子供を捜しているんです。この山で道に迷ったみたいなんです。

どんな子供ですか？土でできていますか？

ううん。緑色の上着を着てるんだ。

もしかして、あなたのお子さん、顔は犬で、体はカエルとか？

いいえ、普通の人間の子供です。

母

山男ズ

ニコラ

山男ズ

劇団演陣

山男ズ

人間の子供ですか。あなた見ました？『見ました』 あなたは見ました？『見ました』

母

ほんとですか？

山男ズ

こーんな羽根の生えた子ですよね。

ニコラ

ピーノじゃないなあ。

山男ズ

あれえ〜(カールとマルソーに)違うってさ。違うってさ。

母

本当にどこに行ったのかしら。

ニコラ

ん〜そうですねえ。もっと大きな声で名前を呼んであげたらどうですか？

母

きつとあなたを手助けしてくれるものが現れますよ。それじゃあまあ、がんばって。

ニコラ

♪やーまのことなら 俺たちにー聞いたらいいんじゃないのかな(歌いながら退場)

母

何しにきたんだらう。

ニコラ

さあ。

母

あっ！

ニコラ

どうしたの、ニコラ。

母

ピーノ、赤くてかわいくて、これくらいの小さな花を探してるって言った。えーと、なんて名前だっけ。

ニコラ

ひばり草だわ。

母

それだ！

ニコラ

あの子、ひばり草を探してるうちに迷ってしまったんだわ。

母

僕、そのひばり草がたくさん咲いてるところを知ってるよ。

ニコラ

本当ニコラ？

母

うん、こつち！(客席に下りていく。)

ニコラ

このあたりなんだ。

母

じゃあわたしは、あつちのほうを探すから。ニコラはこつちをお願い。

ニコラ

わかった。

二手に分かれて、ピーノの名前を呼ぶ。
村人、登場。
タムとカプカが舞台上に現れる。

劇団演陣

カプカ
母
ニコラ
カプカ
あつ、あれ！（お母さんとニコラを指す）
ピーノー！
ピーノー！
あの人が、きつとあの子のお母さんだ。お母さんのためにも見つけてあげなきゃ。
もうすぐしたら、空も暗くなる。早くしないと。行こう、タム。

カプカ
行きかけるが、タムはその場を動かさず、彼らの様子を見ている。

カプカ
タム？

母
タム
（ひととき大きな声で）ピーノー！いたら返事をして。
ピーノー！いたら返事をして。

ニコラ
タム
おーい！ピーノー！
おーい！ピーノー！

カプカ
タム
（うなづく）
そうか、やまびこか。タム、お母さんたちの声を山めいっばいに広げるんだ。

母
タム
ピーノー、ピーノー！
ピーノー、ピーノー！

ニコラ
タム
おーい！ピーノー！
おーい！ピーノー！

母
タム
いたら返事をしてー！
いたら返事をしてー！

ニコラ
タム
ピーノー！
ピーノー！

母
タム
ピーノー！
ピーノー！

ニコラ
タム
おーい！ピーノー！
おーい！ピーノー！

母
タム
ピーノー、ピーノー！
ピーノー、ピーノー！

タム
（カプカの服を掴む）
ピーノー、ピーノー！

劇団演陣

カプカ

どうした？タム。

ピーノ、客席から舞台に上がる。

カプカ

ピーノ！

カプカ

お母さん、ニコラ。

カプカ

おーい！ピーノはここにいるぞー！

母

ピーノー、ピーノー！

タム

ピーノー、ピーノー！

カプカ

ダメだ。やっぱり僕の声は聞こえていない。こうなったら、

ピーノ

(ピーノに向かって)君がもつと声を出さなきゃダメなんだよ。

カプカ

お母さん、ニコラ。

カプカ

ほら、タムもやまびこ。

ピーノ

お母さん、ニコラ。(弱弱しい声)

カプカ

(ピーノに向かって)ほらー、そんな弱弱しい声じゃ、やまびこもできないんだよ。もっと、大きな声を出して。

カプカ

ダメか。しようがない。

ピーノ

♪僕たちの住む村 いいとこだよ

タム

♪僕たちの住む村 いいとこだよ

ピーノ

♪空は青く 人はみんな優しい

タム

♪空は青く 人はみんな優しい

ピーノ

♪みんなもおいでよ この村に

タム

♪みんなもおいでよ この村に

ピーノ

♪ここにある全部は僕のもの

タム

♪ここにある全部は僕のもの

ニコラ

僕の歌だ。僕の歌を誰かが歌ってる。(ギターを出し、ゆっくりとしたメロディで弾き始める)

タム

♪僕たちの住む村 いいとこだよ

ピーノ

♪僕たちの住む村 いいとこだよ

タム

♪僕たちの住む村 いいとこだよ

ピーノ

ニコラだ。

劇団演陣

ピーノとニコラ
全員(タム以外)

♪空は青く 人はみんな優しい
♪みんなもおいでよ この村に(徐々に舞台に近づいていきながら)
♪ここにある全部は僕のもの
♪ここにある全部は僕のもの

ニコラー！

ニコラー！

ピーノ！

ピーノ！ピーノ！

お母さんだ。お母さーん！お母さーん！

お母さーん！お母さーん！

お母さん、僕はここだよー！

お母さん、僕はここだよー！

お母さん！

心配、したのよ。

ごめんなさい。

ニコラも、本当にありがとう。

だって友達だから。

・・・お母さん。

なあに。

お誕生日おめでとう。

え？

ピーノ
ニコラ

僕、ひばり草見つけられなかった。
ピーノ、おばさんのお誕生日のプレゼントにひばり草をあげるつもりだったんだ。
いいのよ、花なんて。だってお母さんには、お父さんとピーノと、ニコラもいるもの。
優しい村の人たちも、この山の自然も、みんなお母さんの宝物よ。

タム、赤い花をそっと置いていく。カプカもそれに倣う。タムとカプカ退場

母

ピーノ

さあ、お家にかえりましょう。ピーノがいなくなっちゃったって聞いて、お父さんすつとんで帰ってくるわよ。

母

ニコラ

じゃあ、お父さんにも謝らくっちゃ。怒られるかな。
大丈夫よ。ピーノが無事でよかったあつて、大喜びするわ。

母

ニコラ

(タムとカプカが置いていった花に気づく)あれ？この花。
ひばり草だわ。

ピーノ

(ひばり草を手に取り、ひとしきり眺めて)ありがとうございます……!!

タムとカプカ

(声だけ)ありがとうございます……!!

ピーノ、母、ニコラ、手を振る。暗転。

エンディング

うさぎ達、踊りながら登場

↓上手と下手にわかれて並ぶ。

上手よりニコラ、下手より山男登場

↓下手側で並ぶ。

上手より母、下手よりピーノ登場

↓上手側で並ぶ。

上手よりカプカ、タム登場

↓中央で一列に。

タム
全員

皆さん本日は誠に、
ありがとうございます。

緞帳が閉まる中、タムとピーノ、握手して手を振る。

■ 作品について

制作・著作「劇団演陣」

初演 2006年

本作品に関するお問い合わせ、上演等での使用については劇団演陣ホームページ
(<http://www.gekidanenjijin.net/>) に掲載のメールアドレスより「」連絡ください。